



コメント：毎年恒例の看護部運動会。部署の垣根を越えて「ONE TEAM」となって盛り上がりました。

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❖ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❖ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❖ かかりつけ医との連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



赤磐医師会病院

令和2年初頭に当たり

公益社団法人赤磐医師会 会長 滝澤 貴昭



あけましておめでとうございます。令和になって初めてのお正月を、皆様はいかがお過ごしだったでしょうか。

赤磐医師会病院は、近年、ベテランの医師たちに加えて、優秀で活力にあふれた若い医師たちも、外来診療・検査・救急対応・病棟管理にあたってくれる体制となり、診療の厚みが増しています。また、岡山市内総合病院や専門病院との連携体制もより強固なものとなってきています。

さて昨年9月26日に厚生労働省から地域医療構想の見直しについてプレス発表があり、岡山県内で13病院について再編が必要と報道されました。赤磐医師会病院とともに、近隣では備前市立吉永病院・備前市立備前病院・瀬戸内市民病院なども病床削減・病床再編の対象として取り上げられました。地域住民の方々やかかりつけの患者様、さらには病院勤務の職員の方々までもが大変心配されたことでしょうか。岡山県南東部の地域医療構想会議は平成28年3月から、平均して年に三回程度開催されてきました。私も副議長として当初から会議に出席しておりましたが、このたびは突然で、かつ、それまでの議論とはかけ離れた突拍子もない発表となり大変驚かされました。医師会病院については、昨年の会議で今後の病床再編計画について報告の上で、委員全員の合意を得ておりました。その内容としては、病床総数は多少減らすものの、主として急性期病床を減らして、その病床を回復期にあたる地域包括ケア病棟に変更するというもので、国の方針や地域医療の現状に配慮した計画です。現状と将来の医療ニーズを考えると、超急性期の高度医療を岡山市内の総合病院・専門病院などで受けられた患者さんが、地元の病院に帰り、短期間の入院療養・リハビリを継続した後に、安心して自宅療養に繋げられるようにとの考え方です。一方で、昨年の厚労省の再編案は平成29年夏頃の現状のみから解析した結果であり、数年間にわたり地元で開かれた地域医療構想会議の結果や報告を無視した全く無茶なものでした。その後、厚労省のお役人たちは、火消し役で全国に説明に回っておられ、それぞれの地域や病院の事情を考えれば、多少の病床削減は致し方ないものの、住民や患者様に影響が及ぶほどの大改革はされないものと考えています。またさらには厚労省の責任というよりも、財務省から厚労省に予算削減の厳命が下ったために起きている事象であり、厚労省のお役人も板挟みで辛い思いをされているのではないかと考えています。

国の考え方の一つとして、民間病院でできることは民間に任せて、公的病院は税金を投入して赤字覚悟してでもやるべき医療を担いなさいとの方針があることを忘れてはなりません。赤磐医師会病院は、民間病院ではありますが、地域医療支援病院・へき地医療拠点病院として認可されているため公的病院に準ずるとみなされており、また数年前に赤磐市民病院閉院にともなう病床統合のために地域医療再生基金という国の税金が投入されました。しかし赤磐市などから病院運営のための税金投入はなく、一方では大規模増改築などの年を除いて自主努力にて健全な黒字経営を続けていますので厚労省の指摘はお門違いとの印象を強く持ちました。改めて、住民の皆様、患者様、職員の皆様には、あまり不安がられることなく、医師会病院の医療提供体制維持に期待して頂けたらと思います。

今年も赤磐医師会病院ならびに医師会会員施設を何卒よろしくお願ひ申し上げます。



新年のご挨拶

赤磐医師会病院 院長 佐藤 敦彦



皆様、新年明けましておめでとうございます。

当院は当地区における唯一の地域中核病院としてこれまで、救急医療をはじめ、かかりつけ医からの紹介入院や岡山市内総合病院で入院中の患者様転院受け入れなど、地域に無くてはならない病院として日々奮闘して参りました。この場をお借りして、日頃より患者様をご紹介頂いております赤磐医師会会員や登録医の諸先生方、また当院をご利用頂きました地域住民の皆様方に厚くお礼申し上げます。

しかし、こうした地域医療活動に水を差すような報道が昨年9月末になされました。厚生労働省は今後の地域医療構想を推進するために、再編統合が必要とされる全国424の公的病院を唐突に公表し、当院もその一つとされました。どうやら当院は高速道路を利用すれば一次救急対応病院まで約20分で救急搬送できるというのがその理由らしいのですが…。

リストアップされた病院は主に地域医療を中心的に支えている施設が多く、地方自治体や地域住民からは地域医療の実情に即していないと猛反発にあい、現在国はその火消しに躍起になっております。幸い、当院では公表に伴う風評被害はほとんど見られませんが、これは地域住民の皆様方の冷静な対応によるものだと感謝しております。

さて、新年のご挨拶の場で毎年申し上げております地域での医師不足に関しましては、平成30年度よりスタートした新医師専門医制度により、当院は内科を中心に岡山市内総合病院から若手医師の複数の派遣が実現しました。更に嬉しいことに、昨年度は岡山大学地域枠から念願の整形外科医師の増員を果たすことができました。まさに当院としては、現在医師のマンパワーがこれまでになく発揮され、充実した医療体制を築きつつある過程にあると言えます。



新人紹介

常勤内科医師 ● 栗林 怜美 先生



10月より内科(糖尿病内科)常勤として勤務しております。毎週水曜日の外来も担当させて頂きます。パン屋めぐりが好きです。地域の皆様のお役に立てますよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

病棟看護師 ● 須々木 桃子



10月半ばより南3階で勤務させて頂いております。成人病棟での勤務は初めてですので分からない事も多々ありますが優しい先輩方のご指導の下、勉強の毎日とても充実しております。精一杯頑張つて参りますので何卒よろしくお願い致します。

看護補助者 ● 繁松 久美子



10月より西3階病棟で勤務させて頂いています。最近は友人家族や子供とよくバーベキューをして楽しんでいます。1日でも早く業務に慣れるように頑張りたいと思います。

常勤内科医師 ● 岩藤 恭昌 先生



10月から1年間という短い期間ではありますが、内科(消化器内科)常勤として勤務しております。岩藤恭昌です。趣味はゴルフと筋トレで、中学から大学時代まではサッカーをしていました。分からないことも多く、ご迷惑をお掛けするとは思いますが、よろしくお願い致します。

看護補助者 ● 安達 千恵



11月から東3階病棟で勤務させて頂いています。慣れない事ばかりでご迷惑をおかけしますが、皆様のお話をしっかり聞いて業務を覚えていけるよう頑張りたいと思います。動物が好きで、特に猫が好きです。よろしくお願い致します。



★ 糖尿病ケア委員会紹介 ★

糖尿病ケア委員会は、平成27年4月に結成して今年で6年目となります。メンバーは、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、検査技師、薬剤師、社会福祉士、医療事務から成り、毎月第2木曜日に委員会を開き患者情報交換や研修会等カンファレンスをしています。また糖尿病教育を必要とする患者家族へチーム全員で連携し支援を行っています。

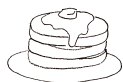
令和元年11月14日「世界糖尿病デイ」には、当院も「自分の健康に気づいていますか」をテーマに職員を対象としたイベントを開催しました。

内容は、血圧・血糖・握力測定などをチェックできるブースや食品中の炭水化物量がどれくらいかをクイズ形式にして学べるブース、階段昇降で消費できるカロリーがわかるなど、楽しく学べるようにしました。102名の職員が休憩時間を利用し参加してくれました。参加後は、「楽しく学べた」などの声を聴きました。

今回のイベントを通しメンバー全員の活動意欲も高まり、来年は院内だけでなく院外に向けた活動にもLET'S TRY! したいです。



看護部：福島



★ イベントの様子 ★



★ 消防避難訓練 ★

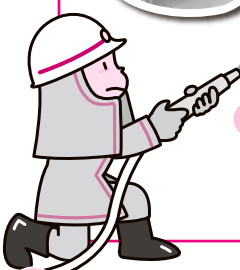
令和元年11月25日13:30から消防訓練を実施しました。

今回の訓練は夜間想定で、出火場所を職員食堂とし消火器・消火栓による初期消火訓練や各病棟の避難訓練、また、当院の持つ消防設備に対する知識の習得も併せて行いました。

想定した火災に対し通報連絡・消火活動・避難誘導・救護と各自の役割を果たし、参加した職員は真剣に取り組んでいる様子が伺えました。火災受信盤や非常ベル、消火器の位置、消火栓の起動、操作方法など改めて確認し、実際に消火器、消火栓を使用した放水訓練等も行い貴重な体験が出来たと思います。

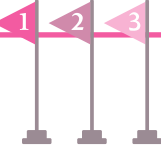
訓練は繰り返し行う事で個々の判断や行動が向上し、万一の時の行動に大きく左右されると思いますので今後も、色々な場面を想定して訓練をしていきたいと思います。また、当院は寝たきりの患者様も多く、実際の避難にあっては大変な混乱と避難の限界が予想されます。日頃から火災を発生させない為の体制づくりを考え、点検整備等にもより一層の力を入れていきたいと思います。

防災センター：山下



第9回

看護部運動会



令和元年11月2日山陽ふれあい公園にて看護部運動会を行いました。

例年、6月に実施していましたが、今年は秋の開催となり、暑すぎない気温で行うことができました。今年もたくさんのお子さんに参加していただき、大人も子供も全力で競技を行いました。最終種目の綱引きでは、得点も高いため皆さん全力で行い、大変な盛り上がりでした。接戦の末に今年は西2階・レントゲンチームが優勝しました。優勝トロフィーは西2階の詰所に飾っています。来年はもっと盛り上がるように頑張ります。

看護部：新田



接遇研修会開催

令和元年12月2日～4日にかけて元RSK山陽放送アナウンサーの本田祐美先生を講師としてお招きし、接遇研修会を行いました。3日間における研修は240名を超える参加となり、接遇の基本となる表情(口角を上げた笑顔)、正しい敬語や言葉遣いについて実践を交えながら講演いただきました。普段行っている接遇を見つめ直す機会となり、改めて接遇の大切さを学ぶことができました。

今回の研修で学んだことを生かし、より患者様が安心し、満足して当院を受診していただけるよう接遇に努めていきたいと思います。

接遇委員会 委員長：松岡



赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

令和2年1月1日現在

	月	火	水	木	金	土
外来診療・健康診断	内科一診(再診)	大道 莉子	平井 通雄	柚木 直子	平井 通雄	岩藤 恭昌
	内科二診(初診)	中納 弘幸	牧田 雅典	吉井 将哲	下西 惇	担当医
	内科三診(再診)	灘 隆宏	佐藤 敦彦	栗林 怜実	近藤 稔人	前田 英紀
	内科四診(再診)	柚木 直子		友田 純		
	内科午後(予約外来)	柚木 直子※1 (PEG造設・嚥下評価外来) 大宮 照明				
	外科	戸田佐登志	宮木 功次	内田 卓之	戸田佐登志	宮木 功次 蓮岡 英明(第3)
	整形外科	片山 信昭	尾下 遼※2	片山 信昭		片山 信昭 尾下 遼
	リウマチ外来(予約・紹介)		片山 信昭※3			
	上肢・手の外科(予約制)				今谷 潤也※4	
	泌尿器科			角南 亮輔※5		渡邊 豊彦※6
	呼吸器内科(予約・紹介)		山岸 智子	藤原 慶一	松尾 潔	
	呼吸器外科(予約・紹介)					片岡 正文 (第1・2・4・5)
	糖尿病内科(予約・紹介)	岡崎 悟※7	大宮 照明※8	前田 英紀※7		
	循環器科(予約・紹介)	西原 大裕※9	小倉聡一郎※10 赤木 達		赤木 達※11	
腎臓内科(予約・紹介)		大宮 照明				
脳神経内科(予約制)				佐々木 諒		
健康診断	平井 通雄	担当医	米井 二郎	友田 純	担当医	(第1)丸山 昌彦 (第3)担当医

診療受付時間：午前8時30分～午前11時

PEG造設・嚥下評価外来	※1 月曜日	午後2時～午後4時
整形外科	※2 火曜日	午後1時～午後3時
リウマチ外来	※3 火曜日	午後1時～午後3時
筋電図検査	筋電図検査につきましては事前に整形外科医師にご相談下さい。	
上肢・手の外科	※4 木曜日	午前9時30分～午前11時
泌尿器科	※5 水曜日	午前8時30分～午前12時
	※6 金曜日	午前8時30分～午前11時
糖尿病内科	※7 月・水曜日	午後2時～午後4時
	※8 火曜日	午前8時30分～午前11時
循環器科	※9 月曜日	午前8時30分～午前11時
	※10 火曜日	午前8時30分～午前11時 午後2時～午後4時
	※11 木曜日	午前8時30分～午前11時 午後1時30分～午後4時

※都合により休診になることがあります。

永年勤続者表彰

平成11年の入職より、永年の勤続、大変おめでとうございます。

嘉数 芳子(看護補助者)
20年勤続

松橋 圭哉(臨床工学技士)
20年勤続

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1
TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946
HP <https://www.akaiwa-mah.jp/>
発行日 令和2年1月15日

